

山行報告書

報告書作成

2012年9月4日

山名 [山域]	北八ヶ岳(蓼科山)	目的と方法	御来光・展望・トレッキング
登山期間	2012年8月31日～9月1日	山行形態	前夜発日帰り
参加人数	4名		

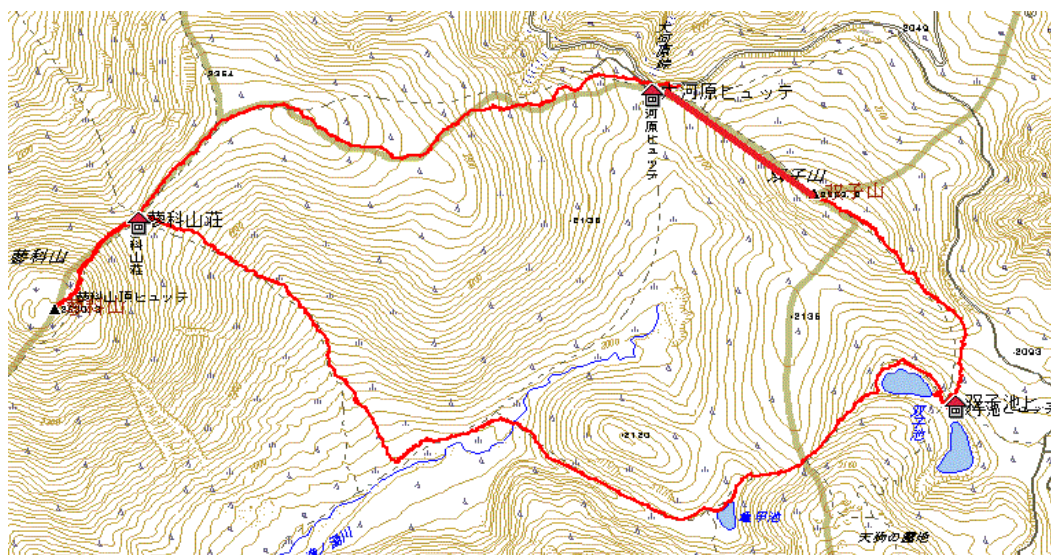
行動記録

8/31(金) 豊田南IC(21:15)=15=鞍ヶ池PA(21:30)=140=諏訪IC(23:50)=55=大河原峠P(24:45)

9/1(土) 大河原峠P(5:00)-30-双子山山頂(5:30, 5:35)-60-双子池(6:35, 6:55)-50-亀甲池(7:45,8:00)-140-將軍平

(10:20, 10:35)-30-蓼科山山頂(11:05, 11:10)-115-大河原峠P(13:00-13:30)=60=音無の湯(14:30, 16:10)=35=諏訪IC(16:45)=140=鞍ヶ池PA(19:05, 19:10)=15=豊田南IC(19:25)

概念図



日誌

大河原峠P到着後、すぐにテント設営し早朝の御来光登山にむけて就寝。

起床後、すぐにテントを撤収し、クマザサをかきわけながら平坦な山道を抜けて双子山へ向かった。到着時、雲がかかってしまっていたため、残念ながら御来光をみることはできず、あきらめて双子池へ向かった。双子池まではいろいろな種類の苔を楽しめたり、シラビソの針葉樹林の中を森林散策しながら気持ちよく歩くことができた。双子池到着後さらに進み、林の木々に苔がびっしりついている山道を登ったり下ったりしながら、亀甲池へ到着。亀甲池から蓼科山荘のある將軍平までは、今までとは全く異なり、大きめの石がごろごろした急傾斜が続く登山道であった(ここまでのコースは数人の登山者とはかみ合わずとても静かなコースだった)。山荘からは巨岩がゴロゴロ堆積した急登が山頂まで続き、鎖につかまりながら登る場所もあり、山頂が近くなると岩がさらに大きくなっており、這い上がるようにして山頂に無事全員到着した。到着後、すぐに雨が降りはじめたため記念撮影のみし早々に下山。雨は次第に強くなり、岩が濡れていた為、滑らないよう足場に注意しながら慎重に下山した。また帰りは赤谷の分岐を経由してのコースであったが、岩場を抜けると登山道は水浸しで、小川のなかを歩いているような状態が最後まで続いた。

感想

今回は雨女さんのパワーが強く(?)天候には恵まれませんでしたが、雨にぬれた苔がとても映え、北八ヶ岳らしい静かで幻想的な雰囲気を感じることができてとても良かったです。ただリーダーいち押しの御来光が見られなかったのは残念でした。。